



マスターシリーズ 防犯カメラ

4KマスターシリーズNVRシステム用アドオンカメラ

取扱説明書

1 紹介

スワンマスターシリーズセキュリティカメラの購入おめでとうございます。

- 高級4K HD.印象的なビデオは、顔、ナンバープレート、クローズアップなどを見ることができます
- オーディオを聞く。カメラは、活動を聞くためにマイクを持っています
- 全天候。カメラは雨と雪の中で動作します、一年中
- 犯罪を防ぐ。熱&モーションセンシング警告灯は侵入者を抑止する
- 人を認識する。愛する人がパーソナライズされたアラートで安全であることを知る
- 夜に参照してください。センサーライトが点灯しているとき、夜に色で見える

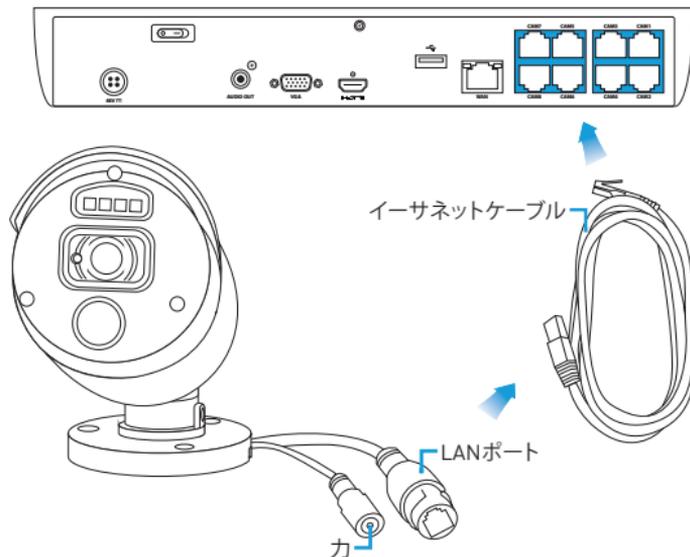
重要な手順

1. カメラが正しく固定され、固定されている場合は安定していることを確認します。
2. ネットワークケーブル接続上の任意の種類の変形を置くことはありません。イーサネットポートにクリップするように設計されていますが、重量をサポートしないので壊れる可能性があります。
3. ワイヤーや端子が露出している場合は動作しません。

重要事項: すべての管轄区域には、カメラの使用に関する特定の法律および規制があります。カメラを何らかの目的で使用する前に、カメラの使用を制限するすべての適用法および規制を認識することは、バイヤーの責任です。

2 カメラを接続する

カメラをNVRに接続するには、付属のイーサネットケーブルをカメラのLAN接続に接続し、ケーブルのもう一方の端をNVR背面のカメラ入力の一つに差し込みます。



⚡ 注意:電源コネクタは、必要に応じて代替電源オプションとして提供されます。NVRは、接続時にイーサネットケーブルの電源を供給し、別の電源アダプタは必要ありません。

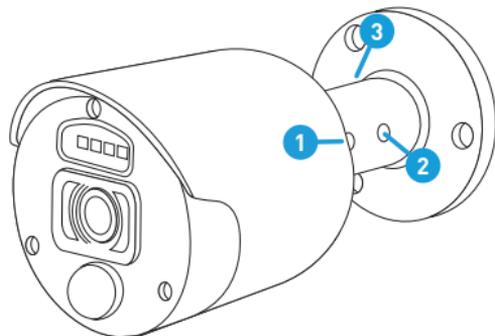
3 カメラを設置する

カメラは提供されるねじおよび壁のプラグを使用して平らな表面に取付けることができる。サーフェスには、カメラを保持するのに十分な強度が必要です(図示されているカメラは、説明のみを目的としています)。

- カメラを取り付ける位置にカメラを配置し、表面のネジ穴をマークして、ネジを配置します。次に、カメラを固定するサーフェスに適したネジを使用して、カメラを所定の位置に固定します。
- 木製の表面に取り付ける場合は、カメラを直接表面にねじ込みます。
- 石積みの表面(レンガやコンクリート)に取り付けている場合は、壁のプラグを使用する必要があります。

カメラを目指す

1. 両方のネジを緩めます(プラスのヘッドドライバーを使用して)カメラの向きを調整します。これにより、画像が正しい方向になるようにカメラを回転させることができます。各ねじを締めて所定の位置に固定します。
2. ねじを緩めてカメラを上下に傾けます。ネジを締めて所定の位置に固定します。
3. カメラを左右にパンするには、ネジを緩め、適宜配置します。ネジを締めて所定の位置に固定します。



4 カメラ設置場所のヒント

1. 監視する内容と、その最適なビューをどこで表示できるかを考慮してください。
2. カメラを監視システムに接続する方法。ケーブルと接続は天候から守るべきであることを覚えておいてください。
3. カメラを危害から守る方法。カメラを高い位置に取り付けることをお勧めします。
4. カメラを実用的な範囲内に近づけます。最高の位置は、あなたが探している細部を念頭に置いて、わずかに下を見て、上の約13フィート/4mからです。
5. カメラからライブビューを見ると空は素敵に見えますが、犯罪者が近づくのはありそうもない方向です。昼間の光が画像の前景を暗くすることができるので、カメラに最小限の空があることを確認してください。
6. 潜在的な犯罪者があなたの家に近づく可能性が最も高い方法について考え、カメラを使用してこれらの地域の最高のカバレッジを提供します。
7. カメラのケーシングは、異なる気象条件や改ざんに耐性があります。住宅に損害を与えるには圧倒的な出来事が必要です。
8. カメラは天候や耐水性、日光や過度の湿気などの悪天候への長時間の暴露にもかかわらず、最終的にカメラの内部コンポーネントを損傷し、その性能に悪影響を及ぼす可能性があります。
9. 壁の空洞または他の保護されたエンクロージャーの内部でケーブルを実行し、すべての配線およびコネクタが絶縁され、湿気から保護されていることを確認します。
10. ケーブルを電気配線の近くに置かないでください。AC電力は、カメラからの信号を妨害する可能性のある無線「ノイズ」を発生させます。

5 限定保証 - 規約

スワン・コミュニケーションズは、本製品の材料または仕上りの欠陥に対して最初の購入日から1年間保証します。保証の妥当性を確認するため、購入の証明として領収書を提示する必要があります。上記の期間中に欠陥があることが判明したユニットは、スワンの独自の判断により、部品や労働コストを請求することなく修理するか、別の製品と交換します。エンドユーザーは、スワンの修理センターに製品を送るために発生した全ての送料を負担するものとします。また、エンドユーザーは、居住国以外の国から発送、または返送する際に発生した全ての送料を負担するものとします。

本保証は、本製品の使用または使用できないことから生じる偶発的、付随的または派生的な損害について保証するものではありません。店員または他の人物による本製品の取り付けや取り外しに伴う全ての費用、あるいは本製品の使用に関するその他の費用はエンドユーザーの負担となります。本保証は、本製品の最初の購入者のみに適用され、第三者に譲渡することはできません。権限を持たないエンドユーザーまたは第三者がコンポーネントに変更を加えた場合、全ての保証が無効となります。一部の国では、本保証にある特定の除外に関する制限が法律によって禁止されています。現地の法律に適用される場合、規制および法的権利が優先されます。

6 FCCの検証

本機器は、FCC規則のパート15に基づく検査を受け、クラスAデジタル装置の制限に準拠することが認められています。これらの制限は、住宅に機器を設置する際の有害な電波障害から適切に保護することを目的としています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、利用し、外部に放射する可能性があります。取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、ラジオやテレビの受信に有害な電波障害を引き起こすおそれがあります。本機器の電源のオン/オフを切り替えることにより、これらの受信に有害な電波障害をもたらしていると判断される場合、ユーザーは電波障害を是正するために次の対策を講じてください:

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 機器と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店またはラジオ/テレビの技術者に相談する

これらの機器はFCC規則のパート15に準拠しています。機器の操作は次の2つの条件を前提としています:

- (1) これらの機器は有害な電波障害の原因とはならない。
- (2) これらの機器は誤動作の原因となる電波障害を含め、受信する電波障害を許容しなければならない。

ヘルプデスク&テクニカルサポート

support.swann.comのスワンサポートセンターをご覧ください。専用のカスタマーサポートに製品を登録し、ガイドをダウンロードし、よく寄せられる質問に対する回答を見つけることができます。



製品登録



カスタマーサポート



製品マニュアル



よくある質問



サポート コミュニティ